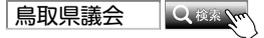


一般質問

11月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。
 本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
 なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
 ※掲載に時間がかかる場合があります。



答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
 【会派民主】会派民主
 【公明党】公明党鳥取県議会議員団



 **鳥谷 龍司**
 議員 

選挙区 鳥取市
 会派 自由民主党

大阪・関西万博と子どもの居場所について

問 関西万博に期待が持てるような県内への取組を伺う。
答 本県も関西の一円であり、県内の食材、観光地等の魅力を世界に売り込むチャンスであり、市町村、商工、観光関係者に理解していただき機運醸成を図っていく。
問 学校でも家庭でもなく、子どもたちが安心できる居場所づくりが孤独孤立を防ぎ、一人一人を温かく包み込む社会につながるが知事の所見を。
答 モデル的な仕組みを展開できるようにシン・子育て王国の中で応援のスキームをさらに拡充していきたい。

 **前原 茂**
 議員 

選挙区 米子市
 会派 公明党

不妊治療対策について

問 企業では、不妊や不妊治療についての認識や知識がなく、職場での支援制度の導入や利用が進んでいない。治療と仕事の両立のため、職場の理解と従業員への環境づくりを推進すべきと思うが、知事の所見を伺う。
答 不妊治療への社会や企業の理解促進を望む声は多い。県では、プレマタニティ（※）休暇制度の導入を企業に働きかけ、優遇措置を取れるようにしている。今後も企業に協力していただき、ファミリーサポート休暇などの導入の普及を図って参りたい。

 **福田 俊史**
 議員 

選挙区 八頭郡
 会派 自由民主党

智頭農林等中山間地域高校の魅力化について

問 第3回日本伐木チャンピオンシップin鳥取の高校生部門で智頭農林高校が初代王座に輝いた。中山間地域を支える人材づくりの視点から知事部局が県立高校魅力化に積極的に関与すべきでは。
答 学校が地域の中で魅力化を実現していくことで生徒も集まり、地域も恩恵を受ける。こういう好循環を生み出していかなければならない。一義的には教育委員会だが、我々知事部局も令和新時代創造運動など様々なツールを活用しながら、地元の動きを応援してまいりたい。

（※）プレマタニティ…妊娠前のこと。ここでは、不妊治療などで妊娠に向かう期間のこと。

前住 孝行 議員 

選挙区 八頭郡
会派 無所属

①デジタル人材の確保
②睡眠推進県へ

問 ①デジタルDXを推進するデジタル人材を広域的かつ組織的に配置してはと考えるが、知事の所見は②健康な睡眠についての正しい理解と、生活習慣の改善を県民に再度呼びかけては。

答 ①人材の派遣についても国のスキームを使いながら、県独自のことも含めて、デジタル行財政改革をやる仕掛けを町村の実態に応じて作っていても良いと思っている。②国が睡眠改善の研究を進めているので、横にらみしながら、県民運動を再構成し、展開を深めて対応していきたい。

銀杏 泰利 議員 

選挙区 鳥取市
会派 公明党

今後のイベント開催
空の駅、災害対策

問 ①やきとりJAPANフェスティバルについて②デフリンピックに対して③鳥取空港コンセッションでは、にぎわい創出の評価と雇用の維持、地元企業の参入を④県道小河内加茂線の強化整備を⑤加瀬木から上流へ迂回路設置を。

答 ①食パラダイスとして応援し盛り上げていく②手話の聖地として手話理解促進、障がい者理解を深める③にぎわい拠点はメリット、収益源になる。雇用と地元企業参入は当然だ④新年度以降本格的に着工する⑤護岸工事と併せ道路機能確保を図る。

東田 義博 議員 

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

とっとり弥生の王国の
取組について

問 ①青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡の学校教育への活用と支援について②指定管理業務の拡大は何を目的としているか③とっとり弥生の王国の今後の展開について。

答 ①出前授業の講師派遣や教材づくりの支援を行う。(教育長) 出前授業や現地学習に今後も取り組む②体験イベント、旅行会社へのアプローチ、SNSでの情報発信など強化拡充をすること③さらなる高みを目指し、調査研究及び発表、歴史的な遺産を渡り歩くツーリズム、情報発信などの拡充を行う。

山川 智帆 議員 

選挙区 米子市
会派 無所属

公民連携（公共施設の
有効活用について）

問 西部総合事務所の新庁舎では、県と米子市の建築部門と税部門を一緒に整備。メリットが有るなら中部や東部でも検討するのか。また職安や年金などの行政手続きが一括化されれば利便性が向上し、不正受給も防げるとの声もある。こうした複合化を検討できないか？

答 機会があれば検討したいが国、県、市別の主体であり米子については庁舎を一緒に建てようから始まり進展し、全国で見ても非常に希少な例である。今後も真摯にそうした機会を検討して参りたい。

前田 伸一 議員 

選挙区 鳥取市
会派 公明党

共生社会、竹林活用、
鳥取砂丘の保全・活用

問 ①ハンセン病療養所県民交流事業等の施策の充実を要望②経営が難しい中山間地域の訪問介護で、通所事業所が訪問介護を行える複合型サービスの実施を提案③竹材を使った有機農業の有効性を検証するための調査研究を提案④鳥取砂丘海水浴場の再開に向けての協力とサンドリサイクルによる海岸線管理を要望。

答 ①当事者が減少しても未来に語り継げるよう事業を展開したい②複合型サービスを視野に検討する③実態調査を行う④海岸線管理に全力を挙げ、海水浴場設営を応援する。

河上 定弘 議員 

選挙区 米子市
会派 自由民主党

①栄養教諭の増員
②eスポーツの活用

問 ①学校で食の専門家の栄養教諭の増員が必要では？

答 ①課題を整理し新年度以降の環境づくりを進めたい。(教育長) 知事部局ともよく相談し配置拡充を検討する。

問 ②高齢者の認知症・フレイル対策、子どもの不登校対策や地域・世代間交流としてeスポーツを活用しては？

答 ②来年のねんりんピック鳥取大会を控え、県としてもモデル的な年とし地域の取組み支援の枠組みを考えたい。(教育長) 不登校対策のきっかけづくりで市町村教育委員会とよく話をして進めたい。



興治 英夫
議員



選挙区 倉吉市
会派 会派民主

起立性調節障害の理解 市町の不登校施設支援

問 ①起立性調節障害（※）による不登校を理解し支援するため、対応ガイドラインを作成・配布すべき②不登校の多様な受け皿を充実するため、市町村の教育支援センターに国補助制度を活用して、県でも財政支援を行うべき。

答 ①（教育長）医師会とも相談し、対応策や受診病院一覧を載せた家庭・教職員向けのガイドラインを作成する②他の居場所も組み合わせたトータルな財政支援スキームを整理する時期になった。国補助制度を点検し、現状調査し、今後の対応考える。



市谷 知子
議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

ゼロゼロ融資、国保、 補聴器、脱炭素、米軍機

問 ①コロナゼロゼロ融資。業者を潰さない対策は？②国保料統一を市町村に押し付けないこと。国保料上昇せぬよう基金で対応を③加齢性難聴の補聴器助成を④2030年CO₂・60%削減に向け、長野県のようにロードマップ作成を⑤オスプレイが墜落。超低空飛行訓練しないよう求めて。

答 ①新制度も話し合う②統一に違和感もつ町村も。全市町村の理解が必要。基金は活用する③国に要望④工夫したい⑤住民に危険を及ぼし、不安を与え、住民の平穏な生活を乱す訓練しないよう求める。



浜田 妙子
議員



選挙区 米子市
会派 会派民主

①子どもへの贈り物 ②気になる課題

問 ①子どもが平和で幸せに暮すための贈り物（江府町奥大山自然塾、安来市加納美術館の平和学習、知恵と工夫の結晶淀江傘伝承館）をどう生かすか②①建設予定の巨大風力発電は地域住民に説明不足③重症心身障がい者グループホーム誕生の今こそ当事者の声に耳を④フッ化物洗口の背景にある教師の多忙感に傾聴を。

答 ①いずれも子どもの体的学的学びや心を揺さぶる大切な施設として継承したい②お互いに協議し理解されるよう今後も努める（教育長）謙虚に耳を傾け、誠実に取り組む。



鳥羽 喜一
議員



選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

関金廃線跡の整備と中 央育英高校の定員削減

問 ①関金廃線跡は日本一美しい廃線跡として脚光を浴びつつあるが、廃線跡部分は県有地である。倉吉市と協同トイレや駐車場の整備を検討出来ないか②鳥取中央育英高はこの数年で、現行の基本方針策定時には想定外の志望者数の急激な減少があるが、現行の方針通りではなく、臨機応変に規定を見直し、定員削減の猶予を検討しては。

答 ①更なる観光地化を推進する話し合いを倉吉市としていく②（教育長）予測がつかないことが起きており、定員削減は慎重に検討していく。



入江 誠
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①UDタクシーの今後 ②ライドシェアの検討

問 ①小型タクシーの料金で運営するUDタクシーがなくなったり、台数が減少すれば、金銭的な負担が増えたり、車椅子を使ったタクシー利用について不便さが生じるのではないか、知事に所見を伺う②一般ドライバーが自家用車を使って、有料で顧客を運送するライドシェアは、手段が限られた地方では、注目されているが、鳥取版ライドシェアの考え方を知事に伺う。

答 ①質問の趣旨に沿って、対策を立てていきたい②地方型のライドシェアを政府に対して働きかけていく。



鹿島 功
議員



選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

中山間地域の人口減少 問題と農業課題

問 地域の農業と農地の保全を次の担い手にバトンタッチできない構造的な問題が生じている。県の持続可能な農業のために、認識と対策を問う。

答 親元就農と50歳以上の方にも応援給付金を出して新規就農を促してきたが、年明けの予算編成で支援策を練り直す。ブロッコリーの大規模施設が作られ、生産を底上げした。近年は集落営農など農業法人化も進んでいる。集落みんなで助け合いながら農業をやる構造をつくり上げていき、新しい営農の仕方、地域の農業の在り方を追求する。

（※）起立性調節障害…思春期前後の小児に多くみられ、自律神経の働きが悪くなり、起立時に身体や脳への血流が低下する病気

 **中島 規夫**
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

①県東部の道路交通
②交通空白地の共助運送

問 ①県東部道路交通の現状、進捗、今後の見通しは②交通空白地の共助運送への支援等で、住民、事業者、行政の創生を目指す。共助運送とタクシーのすみ分けへの懸念は。

答 ①山陰近畿道は都市計画決定手続を進行中。志戸坂峠トンネルは7,000万円の追加配分で設計完了へ②規制緩和等を含むタクシー業界等との協調策の検討や地域実情に応じた対策を国に要請。一方で、今議会7,000万円の共助交通的な鳥取のコミュニティ・ドライブ・シェアを提案した。

 **安田 由毅**
議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

年収の壁突破・不妊治療・小児慢性特定疾病

問 ①女性活躍の観点からも年収の壁突破策の県内での理解促進をすべき②1年前の質問時から不妊治療施策はどう進展したか③長期入院時の付き添い家族の負担軽減策を。

答 ①専門家や商工機関と協力し勉強会を設ける②願いに寄り添う妊娠出産ネットワーク会議を設立し議論しており、今後は回数制限等含めて更なる負担軽減を考える。また保険適用になり患者負担額が減っていることも広報する③現場と相談し患者家族の負担軽減策をシン・子育て王国として今後整備する。

 **坂野経三郎**
議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

**カメムシ・高温被害
救急医療体制について**

問 カメムシ被害による農家の収入減少の影響が深刻だ。如何にして対応すべきか問う。

答 南部町長やJAと、経営の問題を中心に話をした。過去の災害の例などを考えて、今後協議をしていく。

問 高温に強い品種である星空舞の作付面積が12%なのは課題だ。割合を拡充すべき。

答 この機に作付面積を3,000haまで生産拡大をする。

問 東部地域に、西部同様にドクターカーを導入しては。

答 いろんな考え方を一つにまとめていきながら現場で話をしていただくことが大切。

 **語堂 正範**
議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

**県立高校の学級再編
中山間の高校の在り方**

問 基本方針策定時、学級減が連続して行われることを想定していたのか。再編候補高校の既存自治体からの要望書をどのようにするのか。

答 (教育長) 策定時に予想していないことが起きている。連続しての学級減は想定していなかった。町の支援を見ながら慎重に検討する。

問 中山間地域の高校魅力化は大事。中山間地域の高校の在り方をどのようにするのか。

答 (教育長) 中山間地域の学校の在り方は地域性、基幹産業との繋がりを十分重視しながら、丁寧に検討を進める。

 **内田 隆嗣**
議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

高校の再編と県外生の受け入れ

問 令和8年から17年度の高校の再編に関わる基本方針案が示された。この間、生徒数は3千人台半ばとなり、現状よりも千人も減り、40人クラスに換算すると、現在、22校97クラスが75クラス以下になる。クラス減だけでなく、高校自体の統廃合も含めた議論を迫られる。県外生徒の受け入れについて、鳥取西高や米子東高等、普通科高の門戸を開いてはと考えるが、所見を伺う。

答 (教育長) 県外生受入拡大、県内の子どもへの影響を勘案し検討を進めていきたい。

 **川部 洋**
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

地方自治と緊急時の国の指示権拡大について

問 地方制度調査会で緊急時の国の指示権を拡充することが検討されている。国民の生命や財産を守るため緊急事態に国に権限を集中することは必要だが、国と自治体は対等だという原則から外れないよう慎重な制度設計が望まれる。これまでの検討内容、自治法改正の必要性を尋ねる。

答 緊急時の国の指示権は否定しないが、自治の理念からは棒を飲むようなことであり悩ましい議論だったが、特例措置となるよう、地方の意見を聞く機会等の条件が飲まれれば受け入れて良いと思う。

伊藤 保 議員 

選挙区 東伯郡
会派 会派民主

**可及的速やかに
高校の洋式トイレ整備**

問 県中部のある高校の入学式の後、新入生が一番に驚いたのは、和式トイレがあることだそうだ。一日の3分の1を過ごす学校において、トイレは自分を取り戻すためのクールダウンする場所でもあり、教育上とても重要な施設である。早急にすべきでは。

答 (教育長) 指摘の通り、整備率20%台が6校、30%台が6校残っている。生活様式が変化する中、生徒にとって過ごしやすい生活環境、学びやすい学校環境となるよう、教室棟というご指摘を踏まえ、速やかに取り組みたい。

西村 弥子 議員 

選挙区 米子市
会派 会派民主

**① A Y A世代がん予防
② 国際空港化・観光誘客**

問 ① A Y A世代(※)の乳がん予防は実体験からも重要。気軽に健康相談できる「しきゅうCafé」に県で支援を。SNSを利用し若者の健康相談窓口設置を②国内外客へ米子空港駐車場の誘導表示を分かりやすく。島根県とセットで誘客促進・連携強化しては。

答 ①重要だ。県の委託事業化やイベント連携し健康づくりを推進。LINEなど相談窓口を拡充したい②世界標準に合わせ駐車場表示板やナンバリングも改善する。山陰両県で交通・観光情報アプリを作り魅力発信・連携強化する。

福浜 隆宏 議員 

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**① 観光施設の指定管理
② 不登校への対応**

問 ① 県立観光施設の指定管理制度は委託料が決まっており民間ならではの自由度がない。経済青年団体など若者の発想を取り入れ、アイデアを形にする政策的予算導入を② 不登校の児童生徒の保護者に必要な情報が届いていないとの複数の声があり、改善を。

答 ①若者の意見を聴く場を作っていたら、反映させる意味でテコ入れ支援策を検討するなど柔軟な展開を工夫する② (教育長) 情報提供したつもりでは、子どもたちを守り育てることにならず、保護者の困り感を胸に刻み届ける。

関西広域連合議会で鳥取県選出議員が活動

関西広域連合では、ドクターヘリの活用等による広域救急医療体制の充実、相次ぐ自然災害でのカウンターパート方式による迅速な被災地支援など、関西全体の連携による防災力強化に向けて着実に取り組んでいます。このほか、令和3年11月に発出した「関西脱炭素社会実現宣言」に基づく温暖化対策など関西一丸となった取組も行っています。また、今後、「2025年大阪・関西万博」、「ワールドマスターズゲームズ2027関西」という世界中から関心が集まる絶好の機会を捉え、官民の力を結集した広域的かつ戦略的な取組を行うこととしています。

関西広域連合議会には本県議会から、坂野議員(会派民主)、内田議員(鳥取県議会自由民主党)が選出され、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。

関西広域連合議会における主な質問事項

坂野 経三郎 議員

- 大阪・関西万博について
- ドクターヘリについて
(令和5年8月定例会一般質問)



内田 博長 議員

- 自治体立病院のあり方について
- 総合診療医の養成について
(令和5年11月臨時会一般質問)



(※) A Y A世代…Adolescent and Young Adult (思春期・若年成人) の頭文字をとったもので、15歳から30歳代までの世代を指す